



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 トランコム株式会社

コード番号 9058 URL <http://www.trancom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 正久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理グループ マネージャー (氏名) 岩尾 徹 TEL 052-202-1011

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,582	10.4	1,689	△10.9	1,733	△7.6	961	△0.8
23年3月期第2四半期	34,932	14.7	1,896	22.6	1,875	23.1	969	31.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 933百万円 (△1.8%) 23年3月期第2四半期 950百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	99.40	—
23年3月期第2四半期	100.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	25,575		14,176		55.4
23年3月期	25,644		13,658		53.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,172百万円 23年3月期 13,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,050	12.4	4,030	0.2	4,050	2.0	2,300	8.5	237.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,324,150 株	23年3月期	10,324,150 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	650,318 株	23年3月期	650,318 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	9,673,832 株	23年3月期2Q	9,673,832 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興に向け、持ち直しの動きが見られるものの、欧米における財政不安による世界的な景気の停滞や急激な円高進行等により、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

一方、物流業界においては、東日本大震災等の影響により貨物量が一時的に落ち込んだものの復興特需やサプライチェーンの急速な復旧により回復基調で推移いたしました。

このような情勢の下、当社グループは、物流情報サービス事業、ロジスティクスマネジメント事業及び貨物運送事業を中核として、各事業部門間の連携を図り、『ONE STOP 3PL (※)』を事業戦略として、より付加価値の高い物流サービスの提供に努めるとともに、事業拠点の拡充を行なってまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の主な拠点展開等は次のとおりであります。

平成23年7月 中国上海市に特蘭科姆国際貨運代理（上海）有限公司を設立

平成23年7月 岐阜県大垣市に岐阜情報センターを開設

平成23年7月 愛媛県松山市に松山情報センターを開設

平成23年8月 埼玉県久喜市に久喜ロジスティクスセンターを開設

平成23年8月 愛媛県伊予市に松山事業所を開設

平成23年9月 名古屋市緑区に大高事業所を開設

物流情報サービス事業においては貨物量の回復等により堅調に推移し、また、ロジスティクスマネジメント事業においては新規案件の受注、新規拠点の開設を順次進めた結果、当第2四半期連結累計期間の営業収入は385億82百万円（対前年同四半期増減率 10.4%）となりました。一方、営業利益はロジスティクスマネジメント事業での新規拠点の開設に伴うイニシャル費用の発生等により16億89百万円（同 △10.9%）、経常利益は17億33百万円（同 △7.6%）、四半期純利益は9億61百万円（同 △0.8%）となりました。

(※) 『ONE STOP 3PL』とは、顧客の物流業務全般を当社が一括で請け負い、物流ネットワークの構築、運営等をワンストップで提供する物流サービスであります。

当社では、当社グループの事業内容を4つのセグメント及びその他に区分しております。
セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①物流情報サービス事業

	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
営業収入	208億77百万円	25億73百万円	14.1%
営業総利益	8億64百万円	25百万円	3.0%
セグメント利益（営業利益）	7億円	12百万円	1.9%

貨物情報量が堅調に増加したほか、前連結会計年度に開設した新規拠点の寄与等により、増収増益となりました。

②ロジスティクスマネジメント事業

	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
営業収入	97億28百万円	8億39百万円	9.5%
営業総利益	9億13百万円	△1億48百万円	△14.0%
セグメント利益（営業利益）	6億31百万円	△1億57百万円	△19.9%

新規拠点の開設及び前連結会計年度に開設した新規拠点の寄与等により、増収となりましたが、新規拠点の開設に伴うイニシャル費用等により減益となりました。

③貨物運送事業

	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
営業収入	62億22百万円	15百万円	0.3%
営業総利益	4億66百万円	△62百万円	△11.9%
セグメント利益（営業利益）	2億60百万円	△51百万円	△16.5%

輸送単価の下落、輸送効率の低下等により、微増収減益となりました。

④IT・アウトソーシング事業

	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
営業収入	22億12百万円	2億58百万円	13.2%
営業総利益	2億21百万円	0百万円	0.1%
セグメント利益（営業利益）	1億円	2百万円	2.1%

アウトソーシング部門において受注量が増加したものの、システム開発部門において案件が減少したため、増収ではありましたが微増益にとどまりました。

⑤その他

	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
営業収入	6億29百万円	△11百万円	△1.8%
営業総利益	82百万円	6百万円	9.0%
セグメント利益（営業利益）	43百万円	4百万円	12.8%

当セグメントは、自動車整備事業及び海外事業等を含んでおります。

- (注) 1 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしておりません。
2 第1四半期連結累計期間より、海外事業の報告セグメントを「IT・アウトソーシング事業」から「その他」へ変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより作成し、増減比較しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の各残高における、前連結会計年度末との比較情報は次のとおりであります。

イ. 資産

流動資産は、受取手形及び営業未収入金が営業収入の増加に伴い2億27百万円増加いたしました。現金及び預金が3億61百万円減少したこと等により、45百万円減少し140億61百万円となりました。

固定資産は、差入保証金の増加等により投資その他の資産が1億19百万円増加いたしました。減価償却及びリース料の支払等により有形固定資産が1億8百万円減少したこと等により、23百万円減少し115億14百万円となりました。これらにより資産合計は、68百万円減少し255億75百万円となりました。

ロ. 負債

流動負債は、未払金が1億49百万円増加しましたが、未払法人税等の減少3億49百万円及び未払消費税等の減少1億62百万円等により、3億31百万円減少し91億96百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が1億37百万円減少したことに加え、リース料の支払によるリース債務が1億33百万円減少したこと等により、2億54百万円減少し22億2百万円となりました。これらにより負債合計は、5億86百万円減少し113億99百万円となりました。

ハ. 純資産

純資産は、利益剰余金が5億45百万円増加したこと等により5億17百万円増加し、141億76百万円となり、自己資本比率は55.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少し17億53百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益17億42百万円、減価償却費4億79百万円等の資金の増加及び売上債権の増加額2億27百万円、法人税等の支払額10億81百万円等の資金の減少により、7億88百万円の収入（前年同四半期は4億11百万円の収入）となりました。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1億87百万円及び関係会社株式の取得による支出65百万円等により、3億48百万円の支出（前年同四半期は1億75百万円の支出）となりました。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出2億11百万円、リース債務返済による支出1億58百万円、配当金の支払額4億15百万円等により、7億98百万円の支出（前年同四半期は1億22百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の影響や、円高の進行、世界経済の不安定な状況により、国内経済は、依然として不透明な状況が続くものと思われまます。物流業界におきましても、国内経済の減速に伴い厳しい状況になるものと予想されます。

このような状況のもと当社グループは、引き続き付加価値の高い物流サービスの提供に努め、国内事業拠点の拡充に努めるとともに、アジア圏における物流支援等の機能充実を進めてまいります。

平成24年3月期のセグメントの業績予想は、次のとおりであります。

①物流情報サービス事業

	平成24年3月期	対前期増減額	対前期増減率
営業収入	429億80百万円	48億96百万円	12.9%
営業総利益	18億80百万円	89百万円	5.0%
セグメント利益(営業利益)	15億40百万円	60百万円	4.1%

前連結会計年度に開設した新規拠点が寄与するほか、各拠点における生産性の向上等により増収増益となる見込みです。

②ロジスティクスマネジメント事業

	平成24年3月期	対前期増減額	対前期増減率
営業収入	217億80百万円	34億13百万円	18.6%
営業総利益	22億10百万円	△4百万円	△0.2%
セグメント利益(営業利益)	16億10百万円	△34百万円	△2.1%

前連結会計年度及び当連結会計年度に開設した新規拠点の寄与等により増収となる見込みですが、新規拠点の開設に伴うイニシャル費用等の影響で減益となる見込みです。

③貨物運送事業

	平成24年3月期	対前期増減額	対前期増減率
営業収入	128億60百万円	3億25百万円	2.6%
営業総利益	11億60百万円	18百万円	1.6%
セグメント利益(営業利益)	7億50百万円	40百万円	5.7%

貨物量の回復、輸送効率の向上等により増収増益となる見込みです。

④IT・アウトソーシング事業

	平成24年3月期	対前期増減額	対前期増減率
営業収入	42億30百万円	1億54百万円	3.8%
営業総利益	4億20百万円	△2百万円	△0.5%
セグメント利益(営業利益)	1億50百万円	△8百万円	△5.6%

前連結会計年度に獲得した新規顧客の寄与等により増収となる見込みですが、システム開発部門の開発案件減少等により減益となる見込みです。

⑤その他

	平成24年3月期	対前期増減額	対前期増減率
営業収入	11億30百万円	△1億45百万円	△11.4%
営業総利益	1億70百万円	25百万円	17.5%
セグメント利益(営業利益)	50百万円	△19百万円	△28.6%

当セグメントは、自動車整備事業及び海外事業等を含んでおります。

(注) 1 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしておりません。

2 第1四半期連結累計期間より、海外事業の報告セグメントを「IT・アウトソーシング事業」から「その他」へ変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより作成し、増減比較しております。

以上により、平成24年3月期は、営業収入810億50百万円（対前期増減率 12.4%）、営業利益40億30百万円（同 0.2%）、経常利益40億50百万円（同 2.0%）、当期純利益23億円（同 8.5%）を計画しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,114,512	1,753,236
受取手形及び営業未収入金	11,339,180	11,567,031
リース投資資産	3,258	2,601
商品	7,996	8,844
仕掛品	1,661	3,436
貯蔵品	12,015	11,201
前払費用	253,675	319,000
繰延税金資産	273,783	245,063
その他	122,046	173,210
貸倒引当金	△21,541	△22,295
流動資産合計	14,106,589	14,061,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,894,051	6,944,007
減価償却累計額	△2,503,254	△2,644,368
建物及び構築物(純額)	4,390,797	4,299,639
機械装置及び運搬具	2,551,002	2,613,470
減価償却累計額	△2,062,695	△2,063,134
機械装置及び運搬具(純額)	488,306	550,336
土地	2,879,788	2,879,788
リース資産	1,392,337	1,363,520
減価償却累計額	△495,611	△585,153
リース資産(純額)	896,726	778,366
建設仮勘定	—	3,706
その他	395,804	456,103
減価償却累計額	△277,495	△302,501
その他(純額)	118,308	153,601
有形固定資産合計	8,773,927	8,665,439
無形固定資産		
のれん	228,865	194,802
リース資産	20,285	22,236
その他	482,676	479,956
無形固定資産合計	731,826	696,995
投資その他の資産		
投資有価証券	368,216	379,610
長期貸付金	1,640	1,060
長期前払費用	1,810	1,369
繰延税金資産	255,467	284,674
差入保証金	1,184,791	1,270,270
その他	267,955	228,316
貸倒引当金	△48,032	△13,589
投資その他の資産合計	2,031,849	2,151,711
固定資産合計	11,537,603	11,514,146
資産合計	25,644,192	25,575,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,979,103	5,016,659
短期借入金	1,386,536	1,300,100
リース債務	344,785	352,991
未払金	192,096	341,451
未払費用	638,752	687,816
未払法人税等	1,033,488	684,063
未払消費税等	335,005	172,561
賞与引当金	382,440	384,580
役員賞与引当金	20,425	17,292
資産除去債務	—	12,232
その他	215,926	226,912
流動負債合計	9,528,560	9,196,661
固定負債		
長期借入金	799,229	661,689
リース債務	647,420	513,823
再評価に係る繰延税金負債	56,278	56,278
退職給付引当金	169,561	184,149
資産除去債務	315,573	313,431
長期未払金	128,268	127,788
負ののれん	1,778	889
その他	339,250	344,594
固定負債合計	2,457,361	2,202,645
負債合計	11,985,921	11,399,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,047	1,080,047
資本剰余金	1,230,304	1,230,304
利益剰余金	12,257,269	12,802,885
自己株式	△1,019,284	△1,019,284
株主資本合計	13,548,337	14,093,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,712	△2,614
土地再評価差額金	82,441	82,441
為替換算調整勘定	△1,138	△1,336
その他の包括利益累計額合計	108,015	78,489
少数株主持分	1,917	3,728
純資産合計	13,658,270	14,176,171
負債純資産合計	25,644,192	25,575,477

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業収入	34,932,476	38,582,239
営業原価	32,249,708	36,097,025
営業総利益	2,682,767	2,485,213
販売費及び一般管理費		
人件費	406,869	403,272
(うち賞与引当金繰入額)	34,569	23,421
(うち役員賞与引当金繰入額)	9,488	17,292
(うち役員退職慰労引当金繰入額)	2,528	—
減価償却費	31,837	51,269
のれん償却額	34,063	34,063
保険料	10,846	11,923
施設利用料	44,632	40,979
リース料	4,062	972
租税公課	9,332	5,316
旅費及び交通費	35,823	44,949
交際費	15,562	16,497
諸会費	4,774	4,441
募集費	5,136	6,787
貸倒引当金繰入額	1,344	2,229
その他	181,756	172,696
販売費及び一般管理費合計	786,040	795,398
営業利益	1,896,726	1,689,815
営業外収益		
受取利息	498	183
受取配当金	1,931	11,142
助成金収入	6,437	1,026
株式割当益	7,700	—
消費税等免除益	—	54,124
その他	14,987	18,176
営業外収益合計	31,555	84,653
営業外費用		
支払利息	38,216	30,193
債権売却損	127	94
支払手数料	6,825	—
持分法による投資損失	1,033	1,781
その他	6,342	8,595
営業外費用合計	52,544	40,665
経常利益	1,875,737	1,733,803

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	7,319	20,595
投資有価証券売却益	10,197	—
特別利益合計	17,516	20,595
特別損失		
固定資産売却損	0	696
固定資産廃棄損	5,946	1,963
投資有価証券売却損	6,211	—
投資有価証券評価損	13,810	3,234
会員権評価損	4,770	—
災害による損失	—	5,970
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	120,061	—
特別損失合計	150,798	11,865
税金等調整前四半期純利益	1,742,454	1,742,533
法人税、住民税及び事業税	807,290	759,390
法人税等調整額	△36,740	19,534
法人税等合計	770,549	778,924
少数株主損益調整前四半期純利益	971,905	963,608
少数株主利益	2,696	2,017
四半期純利益	969,208	961,591
少数株主利益	2,696	2,017
少数株主損益調整前四半期純利益	971,905	963,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,778	△29,327
為替換算調整勘定	△198	△405
その他の包括利益合計	△20,976	△29,733
四半期包括利益	950,928	933,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	948,142	932,064
少数株主に係る四半期包括利益	2,786	1,810

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,742,454	1,742,533
減価償却費	413,357	479,490
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,344	△33,688
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,360	2,140
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,262	△3,133
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,243	14,587
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△126,350	—
受取利息及び受取配当金	△2,430	△11,325
持分法による投資損益(△は益)	1,033	1,781
為替差損益(△は益)	2,522	2,602
支払利息	38,216	30,193
固定資産売却損益(△は益)	△7,319	△19,898
固定資産廃棄損	5,946	1,963
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,986	—
投資有価証券評価損益(△は益)	13,810	3,234
会員権評価損	4,770	—
災害損失	—	5,970
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	120,061	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,003,526	△227,851
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,183	△1,809
仕入債務の増減額(△は減少)	△364,710	37,555
未払消費税等の増減額(△は減少)	201,146	△162,444
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△27,600	△27,600
その他	200,102	71,898
小計	1,205,000	1,906,201
利息及び配当金の受取額	2,430	11,325
利息の支払額	△38,375	△30,083
災害損失の支払額	—	△18,210
法人税等の支払額	△757,437	△1,081,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	411,617	788,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△146,323	△187,578
有形固定資産の売却による収入	8,451	25,403
無形固定資産の取得による支出	△70,762	△39,206
投資有価証券の取得による支出	△5,206	△471
投資有価証券の売却による収入	76,854	—
関係会社株式の取得による支出	△8,474	△65,416
貸付けによる支出	△20,000	—
貸付金の回収による収入	1,137	762
その他	△61,490	△81,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,812	△348,223

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	494,000	△12,000
長期借入れによる収入	67,620	—
長期借入金の返済による支出	△198,316	△211,976
配当金の支払額	△357,931	△415,974
リース債務の返済による支出	△127,894	△158,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,521	△798,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,619	△3,007
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	110,664	△361,275
現金及び現金同等物の期首残高	2,126,976	2,114,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,237,640	1,753,236

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの営業収入及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					計	その他 (注)	合計
	物流情報サービス事業	ロジスティクスマネジメント事業	貨物運送事業	IT・アウトソーシング事業				
営業収入								
外部顧客への営業収入	18,270,574	8,885,858	5,736,409	1,592,263	34,485,105	447,370	34,932,476	
セグメント間の内部営業収入又は振替高	33,140	3,156	470,185	361,696	868,178	193,901	1,062,080	
計	18,303,714	8,889,014	6,206,595	1,953,960	35,353,284	641,271	35,994,556	
セグメント利益	687,267	788,370	312,378	98,565	1,886,582	38,276	1,924,859	

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車整備事業及び海外事業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					計	その他 (注)	合計
	物流情報サービス事業	ロジスティクスマネジメント事業	貨物運送事業	IT・アウトソーシング事業				
営業収入								
外部顧客への営業収入	20,839,687	9,725,872	5,696,129	1,872,083	38,133,772	448,466	38,582,239	
セグメント間の内部営業収入又は振替高	37,383	3,125	526,178	340,365	907,052	181,297	1,088,349	
計	20,877,070	9,728,997	6,222,307	2,212,449	39,040,824	629,764	39,670,588	
セグメント利益	700,229	631,148	260,717	100,597	1,692,692	43,179	1,735,872	

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車整備事業及び海外事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	1,886,582
「その他」の区分の利益	38,276
セグメント間取引消去	△28,132
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,896,726

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	1,692,692
「その他」の区分の利益	43,179
セグメント間取引消去	△46,056
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,689,815

3 報告セグメントの変更等に関する事項

海外展開の進行に伴い、海外事業と国内事業の業績を区分管理するため、第1四半期連結累計期間より、海外事業の報告セグメントを「IT・アウトソーシング事業」から「その他」へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより作成しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。